

資源循環型施設建設に関する説明会 概要

【秋和自治会】

1 開催概要

開催日時	令和5年7月4日（火）19：00～20：42	
開催場所	秋和児童センター	
出席者	住 民	29名（秋和地区住民29名）
	行 政	土屋広域連合長、小相澤上田市副市長、他関係職員12名
	報道関係	2社

2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	水害対策について	水害対策として、1mの盛土の上に構造物を設置することとなっているが、洪水時には流されてしまうのではないか。杭やコンクリート構造とするような計画となっているのか。	現在は、水害対策の概略を示している。当然水害に耐えられる施設とするので、今後の設計でしっかり検討していく。
2	環境教育、活動拠点について	長野大学や、信州大学など、地域の教育資源を活用し、専門家と連携して環境教育のプログラムを組むなどして、陳腐化せず幅広い年代が学べる環境学習の場を提供できるよう工夫してほしい。	環境影響評価においても、市民に加え、活動実績のある団体と連携して環境教育の拠点づくりを検討するよう知事意見を受領している。環境教育に加え、ごみ処理の役割への理解促進も図りたい。地域の大学や団体と連携して検討していく。
3	施設配置計画について	フリースペースを不燃物処理施設として活用する計画はあるか。	フリースペースは、住民の皆様も活用できるようなものを、計画してまいりたい。
4	周辺環境について	アクアプラザ上田解体時の環境への影響は考慮しているか。	法的には、環境影響評価等の義務付けはないが、周辺影響には配慮しながら行う。

No	項目	質問・意見等	回答
5	周辺道路整備について	<p>自分自身もごみを出す市民の1人であり、この事業について決して反対はしない。</p> <p>ただ、施設の安全はもちろんのこと、周辺環境にも配慮していただきたい。交通量が増加することが考えられるが、周辺道路整備はどのような計画なのか。</p>	<p>上田大橋から堤防道路の道路整備については、現在、国土交通省の千曲川河川事務所と協議を行っている。</p> <p>その中で、清浄園及び上田終末処理場の南側堤防道路の拡幅について概ね了解をいただいている。ただし、上田大橋からの進入ルートについては、まだ協議中であり、まとまり次第お示ししていく。</p>
6	防災拠点について	<p>背後に堤防がある低い敷地に建設する施設(資源循環型施設)を防災拠点と呼ぶのはしっくりこない。</p>	<p>地震の際の一時的な避難場所や、災害廃棄物の迅速な処理ができる上田地域唯一の施設である等、広い意味で防災拠点と位置付けている。指定避難場所のような誤解を招く可能性もあるので、言葉の表現は今後検討する。</p>
7	事業の進め方について	<p>既存のクリーンセンターや不燃物処理施設の後利用をどう考えているか。</p>	<p>資源循環型施設の稼働後、既存の3クリーンセンターは取り壊す計画であり、跡地利用は上田市、東御市で検討している。</p> <p>不燃物処理施設は現在地での稼働を継続し、移転予定はない。</p>
8	建設費及び維持管理費について	<p>建設費や、維持管理費の概算値が示されているが、計画当初との比較を知りたい。</p>	<p>建設費は、焼却規模1日1トあたりの単価で比較すると、計画当初の平成24年時点で6千~7千万円、本計画では1.6億円程度である。</p> <p>維持管理費は、計画当初は1年あたり4.5~5億円程度、本計画では7.8億円程度となっている。今回提示した金額は、物価上昇の激しい時点での調査結果であり、今後は経費を縮減できるように工夫していく。</p>

No	項目	質問・意見等	回答
9	施設の基本概要について	資源循環型施設は何年使用する予定か。	一般的な耐用年数は20年～30年と言われており、県内で最新の「ちくま環境エネルギーセンター」では、35年を想定。当初の20年間運営した時点で詳細調査を行い、判断する想定としている。
10	次期計画について	30年、40年後には、資源循環型施設の次の施設を建てる必要があるかと思うが、同じ場所に建て替えるのか。	次期の廃棄物処理施設は、別の場所に建設することをお約束する。(土屋広域連合長)
11	周辺整備事業について	公園緑地の整備の中で、高校の専門学科の生徒等の若い世代のアイデアを取り入れ、将来長く活用できるように検討してほしい。	整備方針でも「ここから未来を育む」と掲げており、高校生を含む若い世代の意見を反映できる取組を考えていく。頂いた提案についても方法を検討したい。
12	地域要望について	都市計画道路秋和神畑線と土地区画整理事業について、市は今後どのように取り組んでいくか。	<p>秋和常磐城土地区画整理事業については、法的な規制がかかったまま、道路ができていないという状況。上田市としても、資源循環型施設を契機に、この問題を解決したいと考えている。</p> <p>現在は、都市計画決定された土地区画整理事業の見直しについて、どのように手続きを進めていくか研究している段階。</p> <p>改めて、地元の皆様と相談しながら進めてまいりたい。</p>
13		上田駅と西上田駅の間駅の設置を検討してほしい。	研究を始めたところ。先進事例を含め引き続き研究していきたい。

No	項目	質問・意見等	回答
14	費用負担について	資源循環型施設の整備費用は、上田市以外の市町村も負担するのか。	資源循環型施設は、上田地域広域連合の施設であり、上田市を含む4つの構成市町村で、建設費や維持管理費を負担する。（建設費の負担として、上田市は約80%想定）